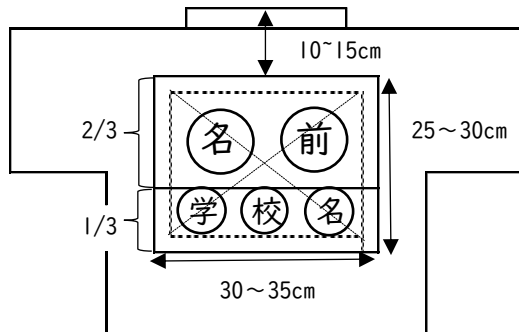


## 柔道衣及びゼッケンについて

- 1 各種大会に出場する選手は、下の図を参考にし、各規定に合う柔道衣（IJF赤マーク、柔連認証赤番号）を着用すること。また、下記の要項に従ってゼッケンを用意し、柔道衣の背中に縫い付けて出場すること。



- (1) 布地は晒太綾（さらしふとあや）を用意する。
- (2) サイズは、横 30～35 cm、縦 25～30 cm とする。
- (3) 姓は上側 2/3、学校名は下側 1/3 の部分に横書きで、男子は黒字、女子は赤字とする。
- (4) 縫い付け方法については、下記に図を参考にし、強い糸で縫い付けること。

### 2 柔道衣のコントロール面

- (1) 袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。（下の図1参照）また、身体と柔道衣の間が 10cm～15cm なければならない。
- (2) 上衣は臀部を覆っていなければならない。（プラス 5～10cm）
- (3) 胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で 10 cm 未満でなくてはならない。（下記の図2の矢印の部分）
- (4) 上衣の併せ目は、水平で少なくとも 25cm なくてはいけない。（下記の図3の矢印の部分）
- (5) ズボンは、ひざの所で 10～15cm の余裕がなければならない。

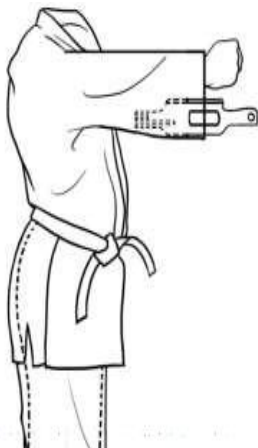


図 1



図 2 拡大



図 3

## 女子のTシャツ及び計量について

- 1 女子のTシャツは、白色（透けない）、半袖、丸首とする。
- 2 製造業者マーク、ワンポイント柄（刺繍）は、最大 30 cm<sup>2</sup> までとする。  
柔道衣を着用した際にマークが見えないこと。
- 3 レオタードの場合は半袖、スパッツは膝上までとする。
- 4 女子の計量は、Tシャツ・ショートパンツでの測定を基本とする。1